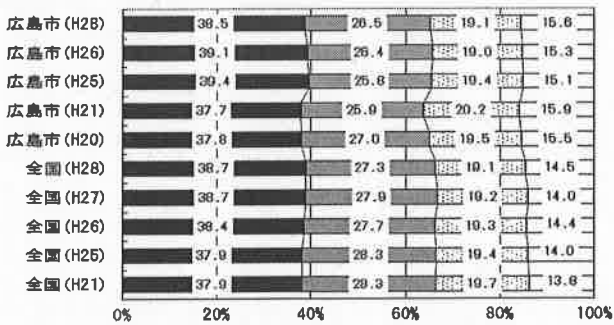
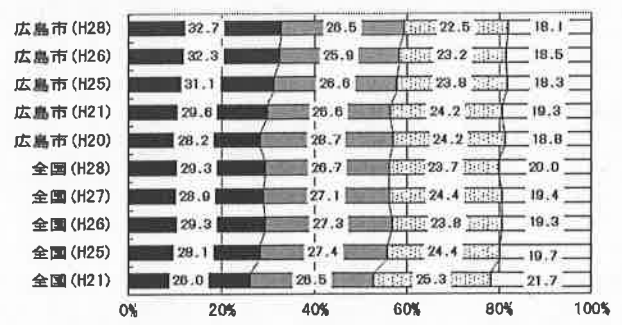


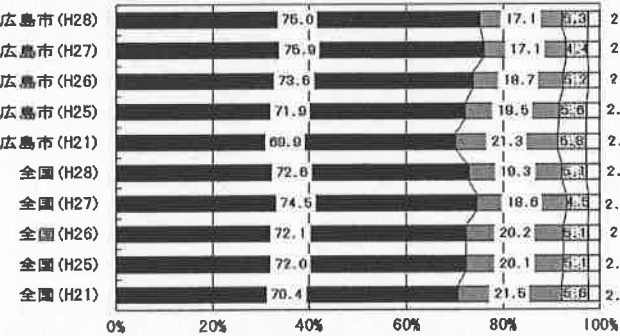
小6 算数の勉強が好き



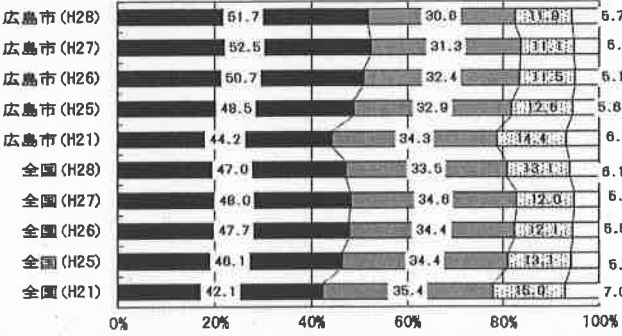
中3 数学の勉強が好き



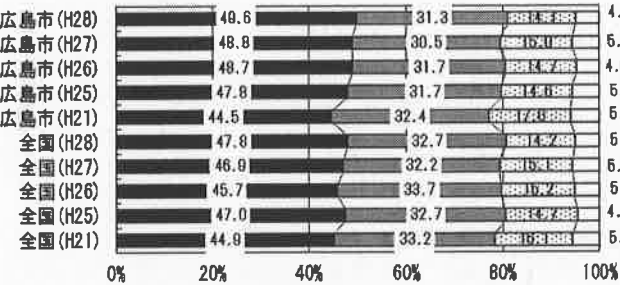
小6 算数の勉強は大切だと思う



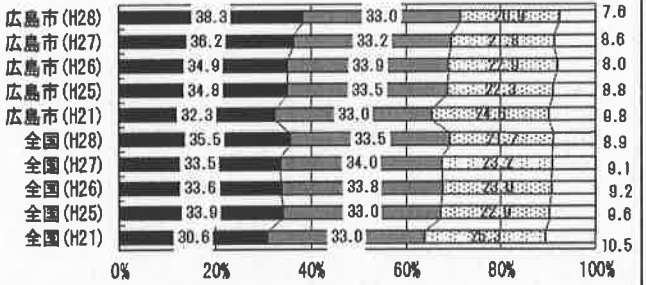
中3 数学の勉強は大切だと思う



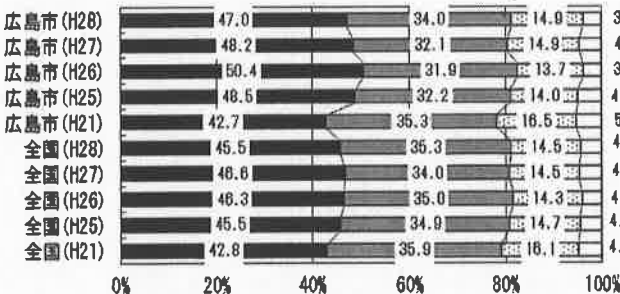
小6 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えられないか考える



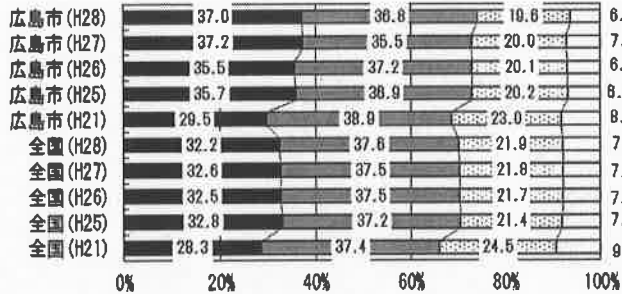
中3 数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える



小6 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている



中3 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている



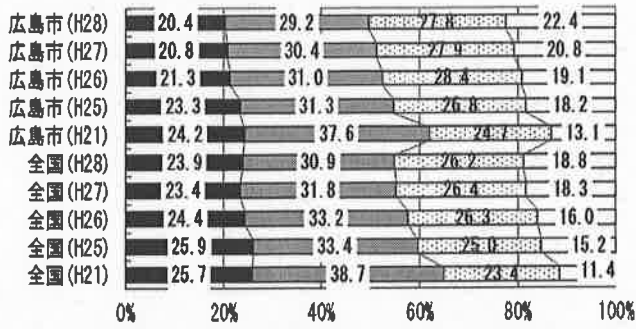
あてはまる

 どちらかといえばあてはまる

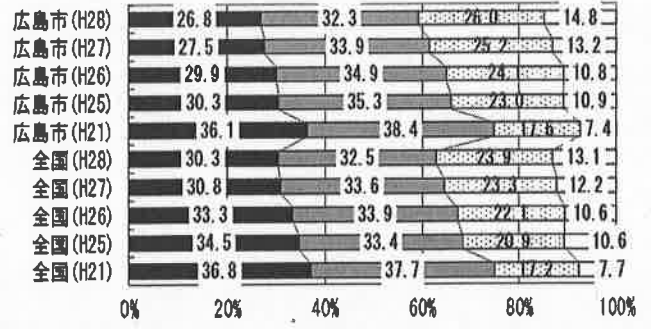
 どちらかといえばあてはまらない
 あてはまらない

- 「算数・数学の勉強が好き」と回答した児童生徒は、小6が約65%、中3が約59%であり、また、「算数・数学の勉強は大切だと思う」と回答した児童生徒は、小6が約92%、中3が約82%で、いずれも、小・中ともに全国と同程度である。
- 「算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」と回答した児童生徒は、小6が約80%、中3が約71%であり、また、「算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている」と回答した児童生徒は、小6が約81%、中3が約73%で、いずれも、小・中ともに全国と同程度である。

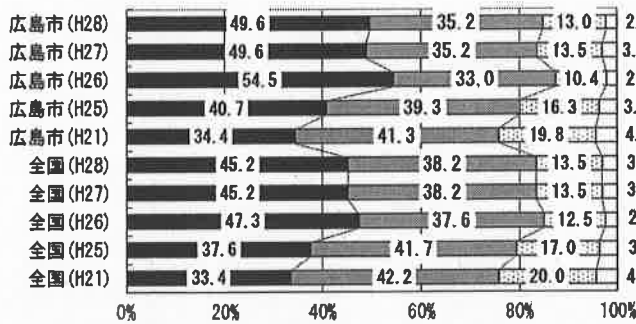
小6 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、
文章に書いたりするのは難しいと思う



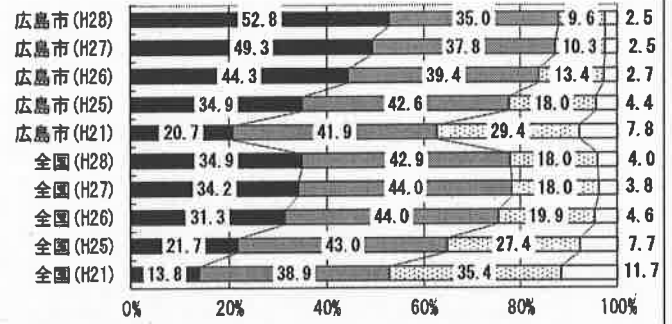
中3 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、
文章に書いたりするのは難しいと思う



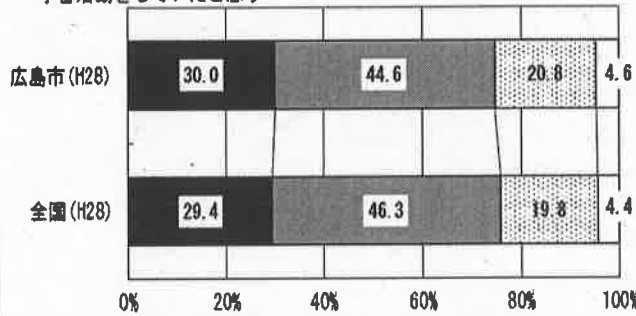
小6 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく
行っていると思う



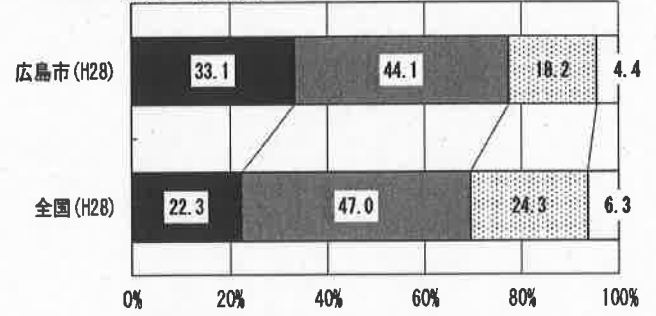
中3 普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行って
いると思う



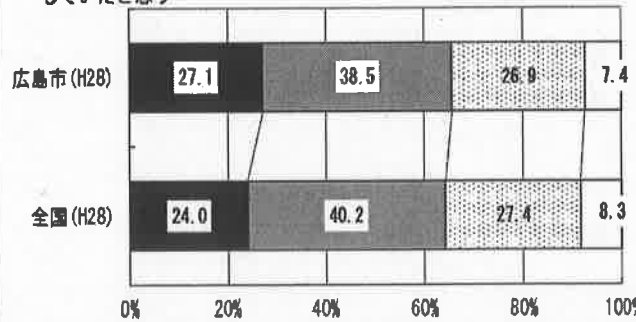
小6 学級やグループの中で自分で課題を立てて、その解決に
向けて情報を集め、話し合いを整理して、発表するなどの
学習活動をしていたと思う



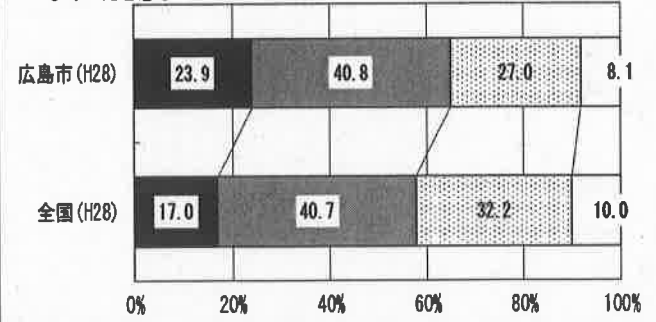
中3 学級やグループの中で自分で課題を立てて、その解決に
向けて情報を集め、話し合いを整理して、発表するなどの
学習活動をしていたと思う



小6 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝
わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表
していたと思う



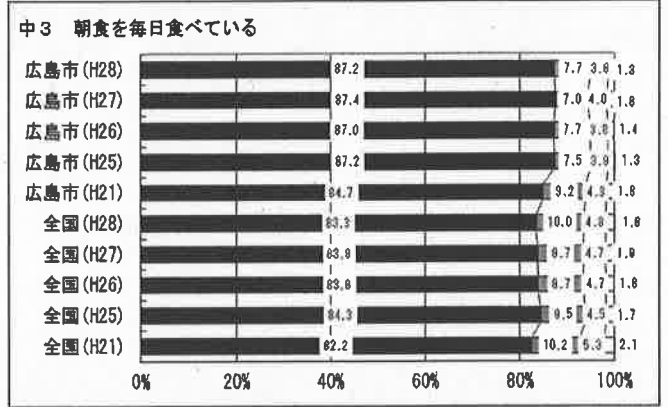
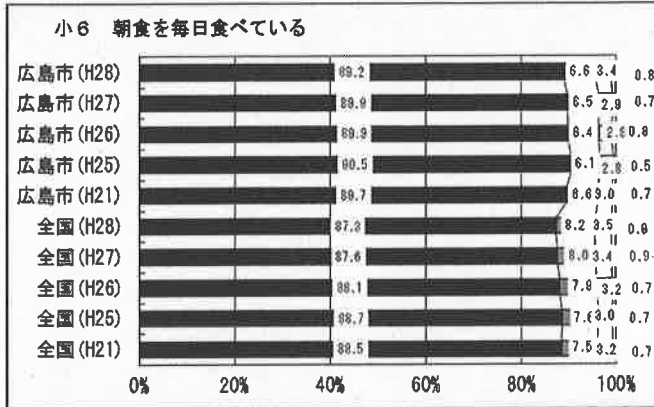
中3 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝
わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表
していたと思う



あてはまる
 どちらかといえ
ばあてはまる
 どちらかといえ
ばあてはまらない
 あてはまらない

- 「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと思う」と回答した児童生徒は、小6が約50%、中3が約60%であり、昨年度よりも低くなっている。
- 「学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う」と回答した児童生徒は、小6が約85%、中3が約88%で、ともに全国より高く、特に中3は高い。
- 「学級やグループの中で課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いを整理して、発表するなどの学習活動をしてきたと思う」と回答した児童生徒は、小6が約75%で全国と同程度、中3が約77%で全国より高い。
- 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う」と回答した児童生徒は、小6、中3ともに約65%で全国よりやや高い。

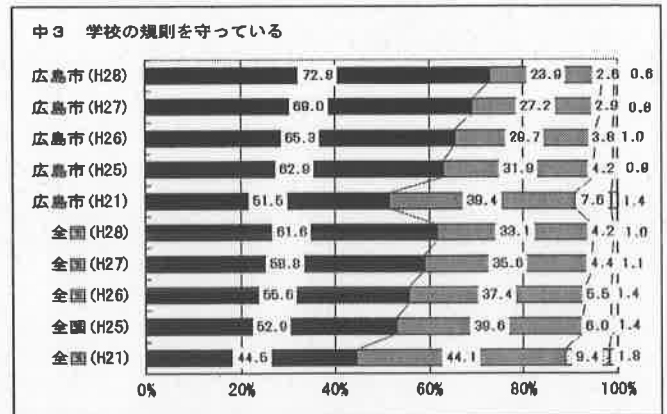
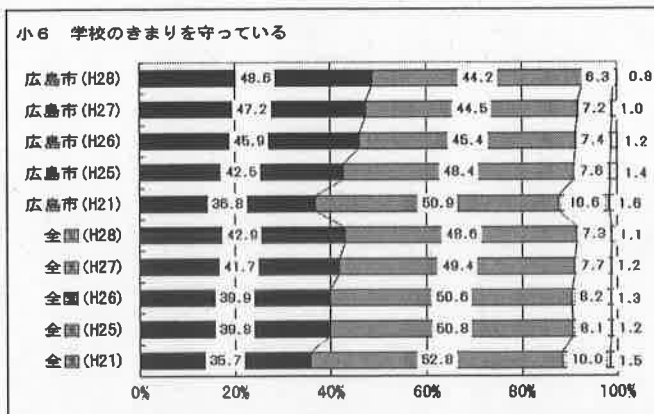
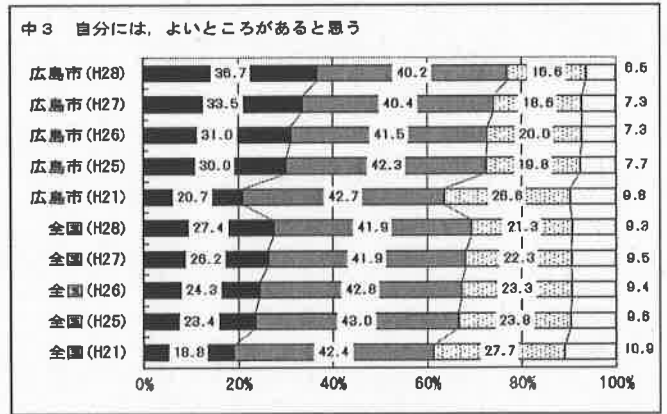
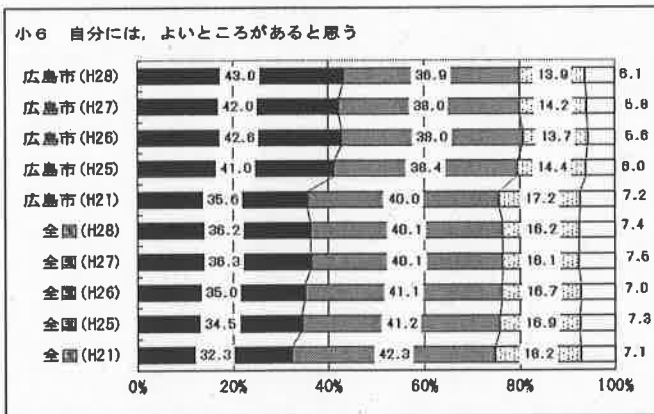
(2) 基本的生活習慣



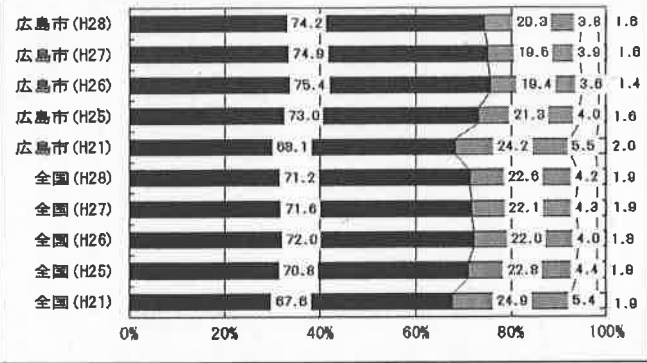
あてはまる
 どちらかといえばあてはまる
 どちらかといえばあてはまらない
 あてはまらない

- 「朝食を毎日食べている」と回答した児童生徒は、小6で約96%、中3で約95%であり、小・中ともに全国と同程度である。

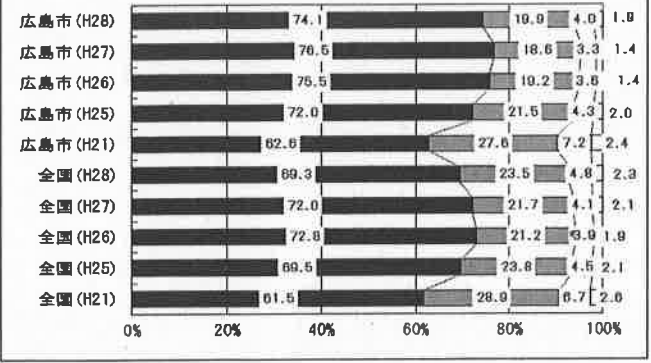
(3) 自尊意識・規範意識等



小6 人の役に立つ人間になりたいと思う



中3 人の役に立つ人間になりたいと思う

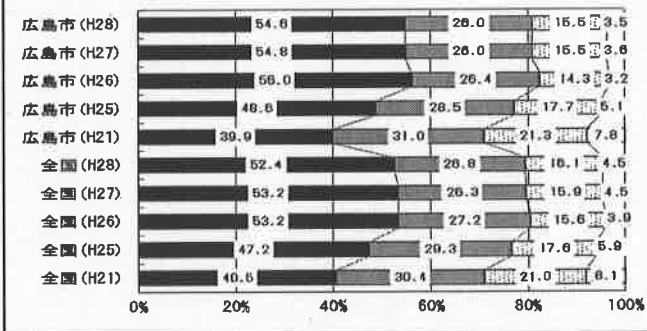


あてはまる
 どちらかといえばあてはまる
 どちらかといえばあてはまらない
 あてはまらない

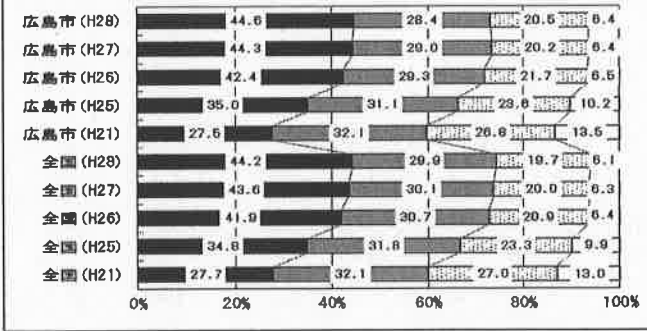
- 「自分には、よいところがある」と回答した児童生徒は、小6で約79%、中3で約76%であり、全国と比較して小6、中3ともに高くなっている。
- 「学校のきまりを守っている」と回答した児童生徒は、小6で約92%、中3で約96%であり、また、「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童生徒は、小6、中3ともにでは約94%で、いずれも全国より高い。

(4) 家庭でのコミュニケーション

小6 家の人と学校での出来事について話している



中3 家の人と学校での出来事について話している

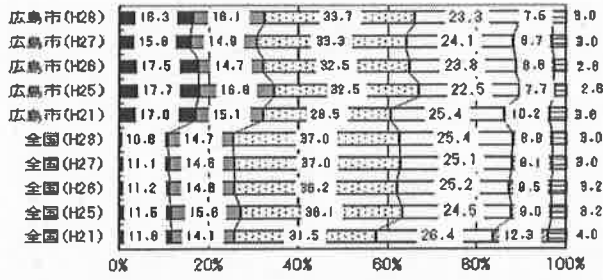


あてはまる
 どちらかといえばあてはまる
 どちらかといえばあてはまらない
 あてはまらない

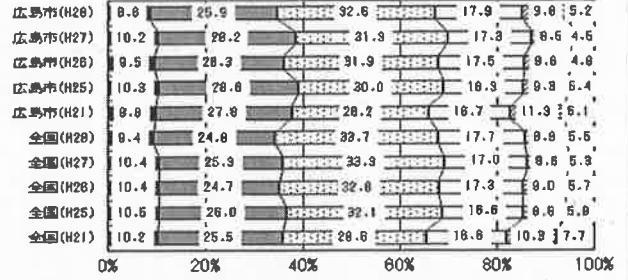
- 「家の人と学校の出来事について話をしている」と回答した児童生徒は、小6で約81%、中3で約73%であり、全国と比較して小6はやや高く、中3はやや低くなっている。

(5) 学習習慣・読書習慣

小6 学校の授業時間以外の普段(月～金曜日)の1日あたりの勉強時間

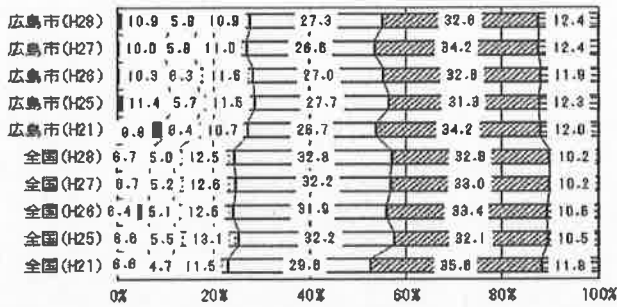


中3 学校の授業時間以外の普段(月～金曜日)の1日あたりの勉強時間

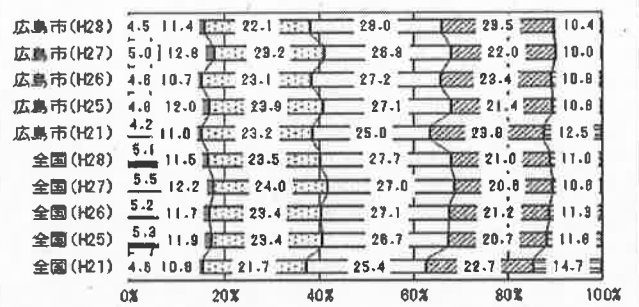


3時間以上
 2-3時間
 1-2時間
 30分-1時
 30分未満
 全くしない

小6 土、日曜日など学校が休みの日の1日あたりの勉強時間

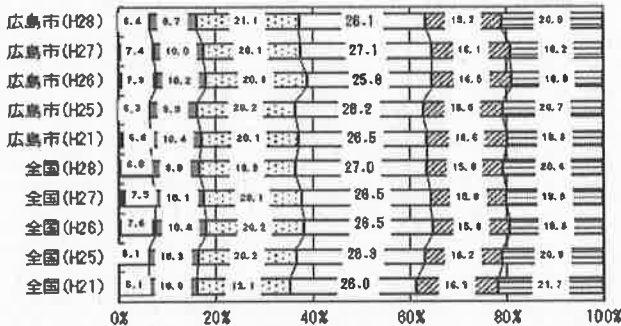


中3 土、日曜日など学校が休みの日の1日あたりの勉強時間

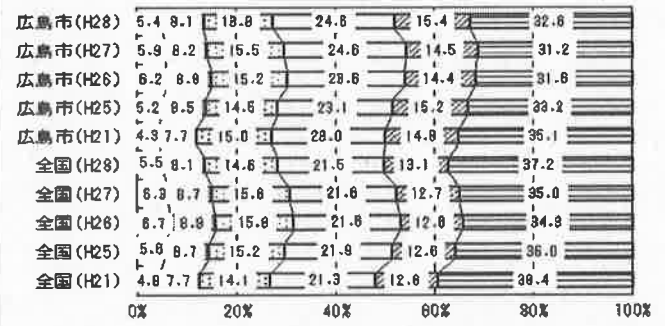


4時間以上
 3-4時間
 2-3時間
 1-2時間
 1時間未満
 全くしない

小6 家や図書館での普段(月～金曜日)の1日あたりの読書時間



中3 家や図書館での普段(月～金曜日)の1日あたりの読書時間



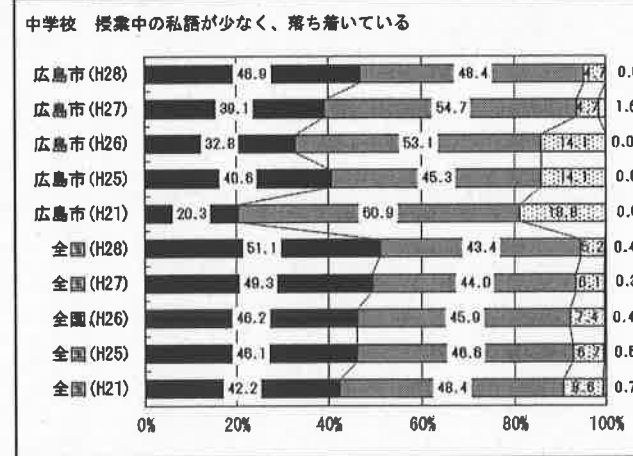
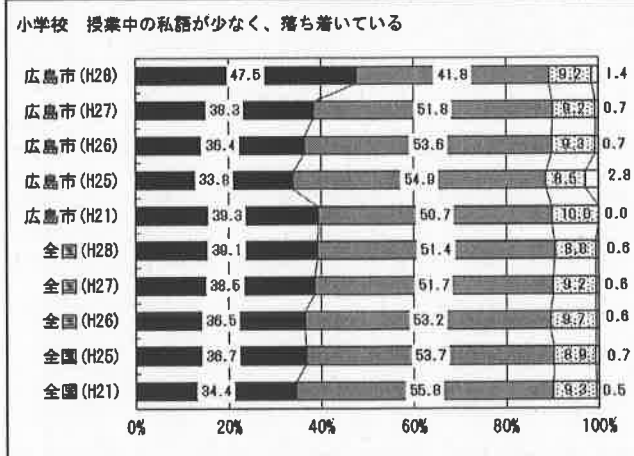
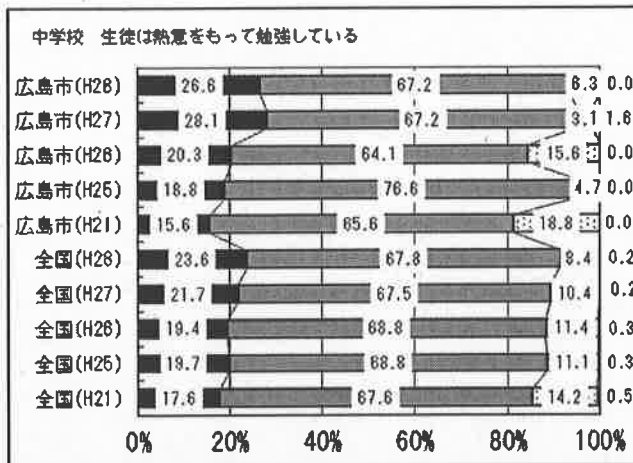
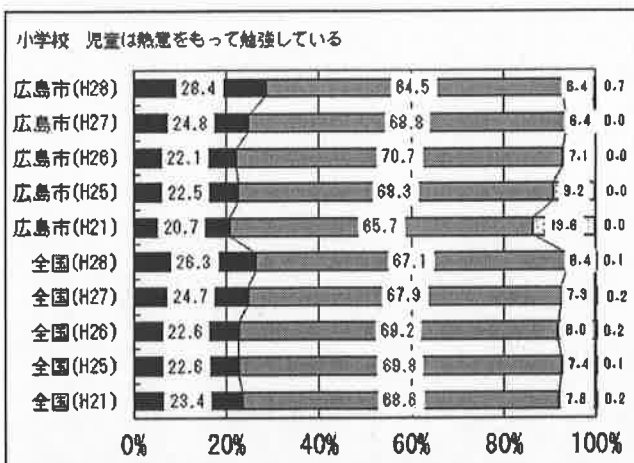
2時間以上
 1-2時間
 30分-1時間
 10分-30分
 10分未満
 全くしない

- 「普段(月～金曜日)、学校の授業時間以外に1時間以上勉強している」と回答をした児童生徒は、小6で約66%、中3で約67%である。一方、「全く勉強しない」と回答した児童生徒は、小6で約3%、中3で約5%であり、全国と同程度である。
- 「普段(月～金曜日)、30分以上読書をする」と回答をした児童生徒は、小6で約37%、中3で約27%であり、全国と比較して小6は同程度、中3はやや低い。一方、「読書を全くしない」と回答した児童生徒は、小6で約21%、中3で約33%であり、全国と比較して小6は同程度、中3は全国より低い。

2 学校質問紙調査

- (1) 学習態度
- (2) 指導方法
- (3) 学力向上に向けた取組
- (4) 国語科の指導方法
- (5) 算数・数学科の指導方法
- (6) 全国学力・学習状況調査の活用

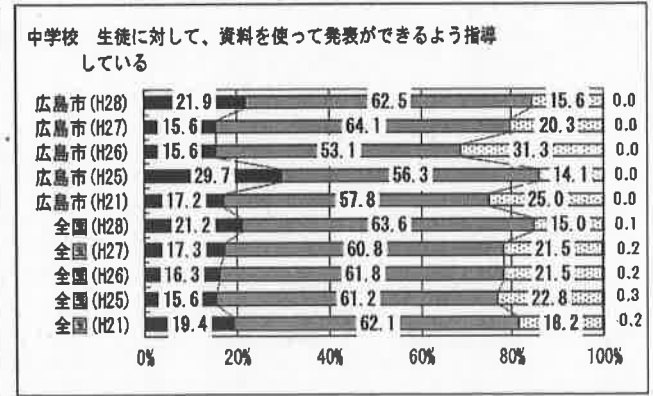
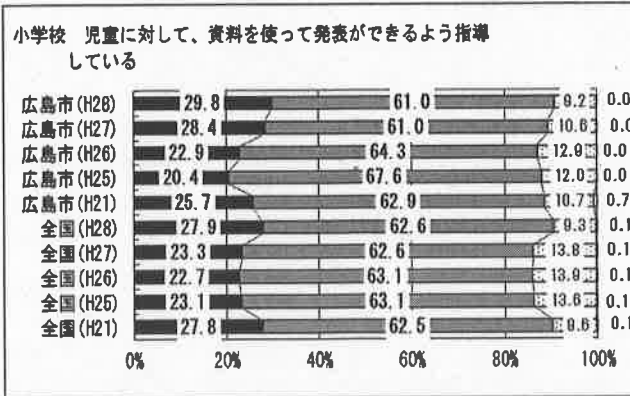
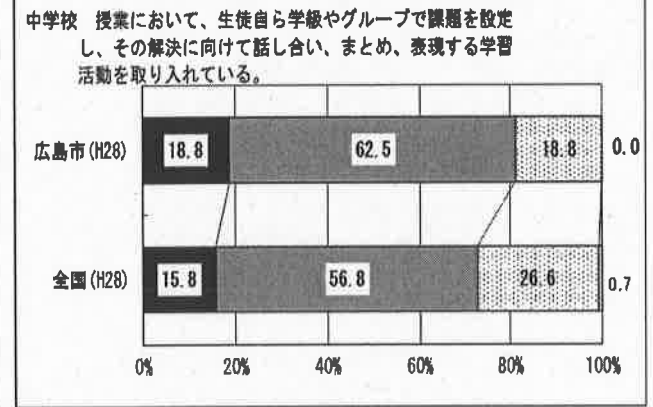
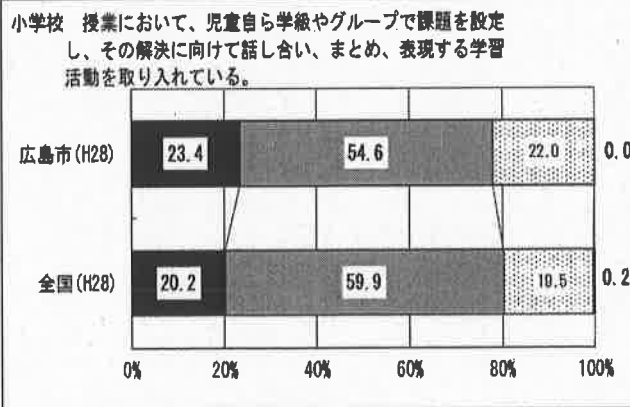
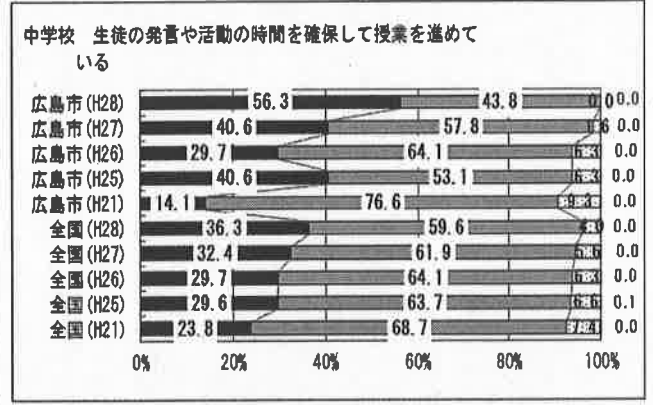
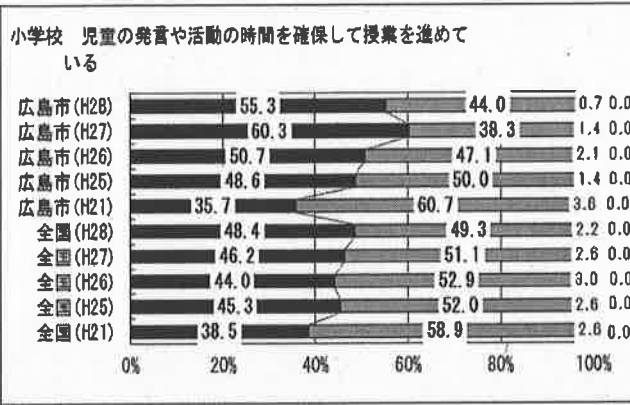
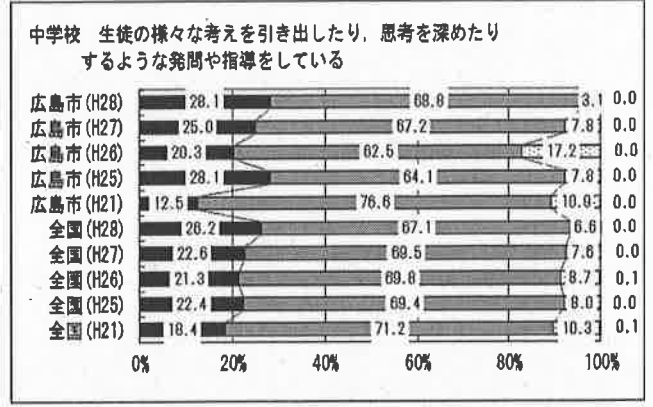
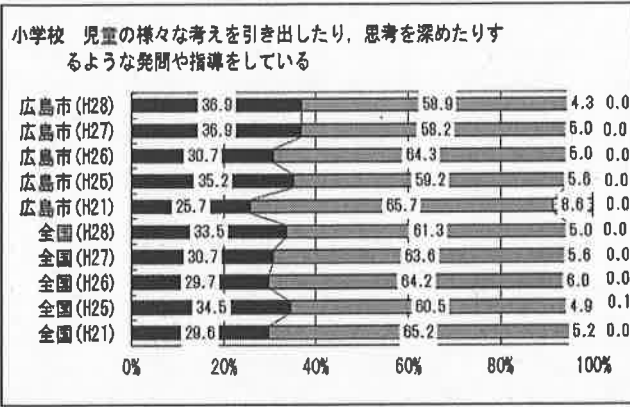
(1) 学習態度



- その通りだと思う
 どちらかといえばそう思う
 どちらかといえばそう思わない
 そう思わない

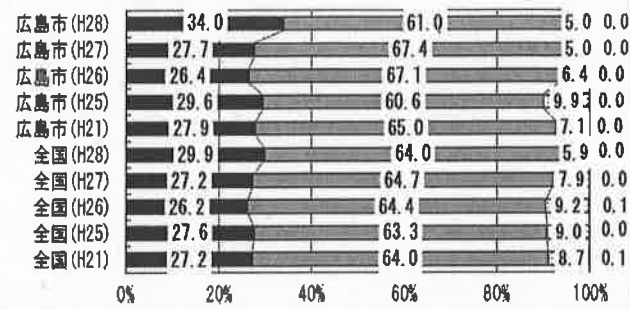
- 「児童生徒が熱意をもって勉強している」と回答した学校は、小学校で約93%、中学校で約94%であり、全国と比較して小学校はほぼ同程度で、中学校は高い。
- 「授業中の私語が少なく、落ち着いている」と回答した学校は、小学校で約89%、中学校で約95%であり、小・中ともに、全国と同程度である。

(2) 指導方法

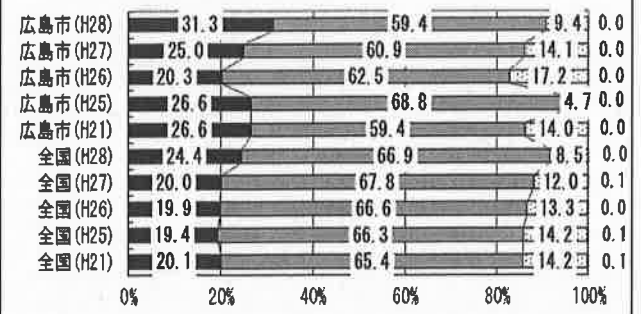


よく行った
 どちらかといえば行った
 あまり行っていない
 全く行っていない

小学校 児童が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく
文章に書かせる指導をしている



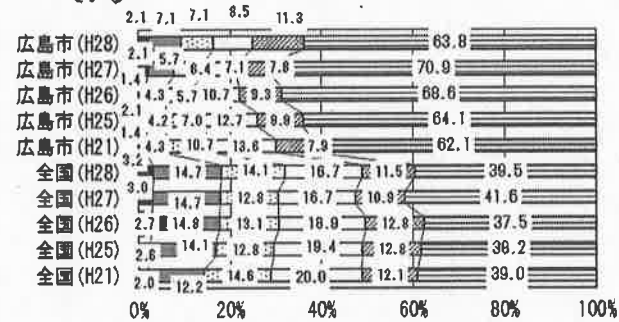
中学校 生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく
文章に書かせる指導をしている



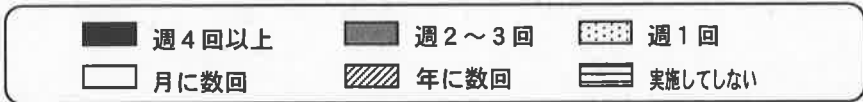
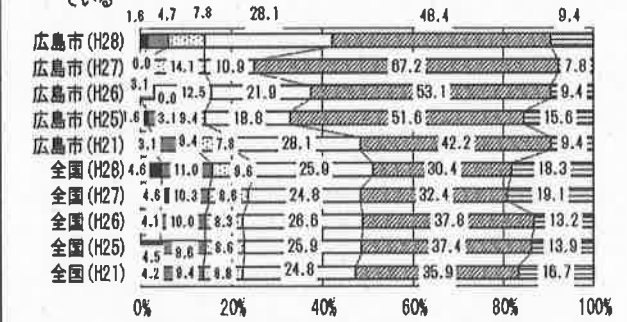
- 「児童生徒の様々な考えを引き出ししたり、思考を深めたりするような発問や指導をしている」と回答した学校は、小・中学校ともに約96%で、全国と比較してともに高い。
- 「児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めている」と回答した学校は、小学校で約99%で、全国と比較してやや高く、中学校では100%である。
- 「児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現する学習活動を取り入れている」と回答した学校は、小学校で約78%、中学校で約81.3%であり、全国と比較して小学校はやや低く、中学校は高くなっている。
- 「児童生徒に対して、資料を使って発表ができるよう指導している」と回答した学校は、小学校で約90%、中学校で84%であり、全国と比較して同程度である。
- 「児童生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしている」と回答した学校は、小学校で約95%、中学校で約86%で、全国と比較して小学校はやや高い。中学校はやや低い、昨年度よりも高くなっている。

(3) 学力向上に向けた取組

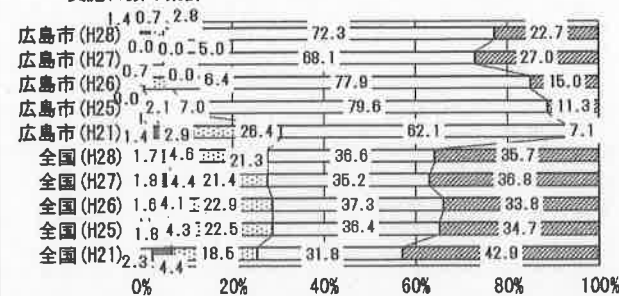
小学校 放課後を利用した補足的な学習サポートを実施している



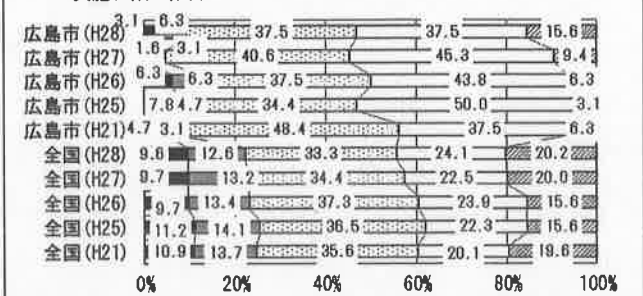
中学校 放課後を利用した補足的な学習サポートを実施している



小学校 長期休業日を利用した補足的な学習サポートの
実施日数の累計

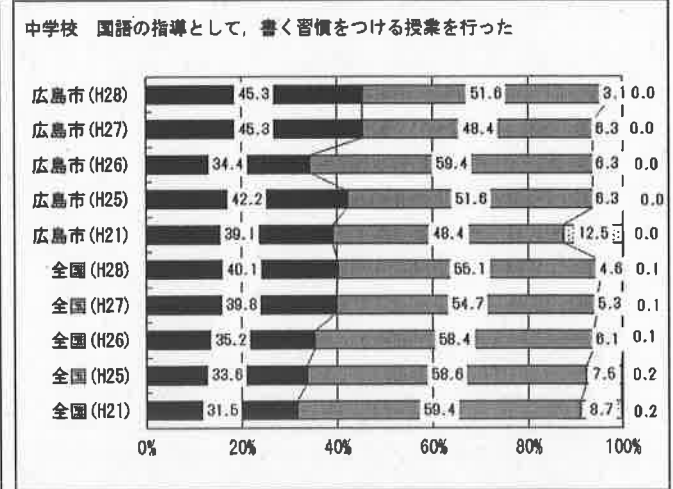
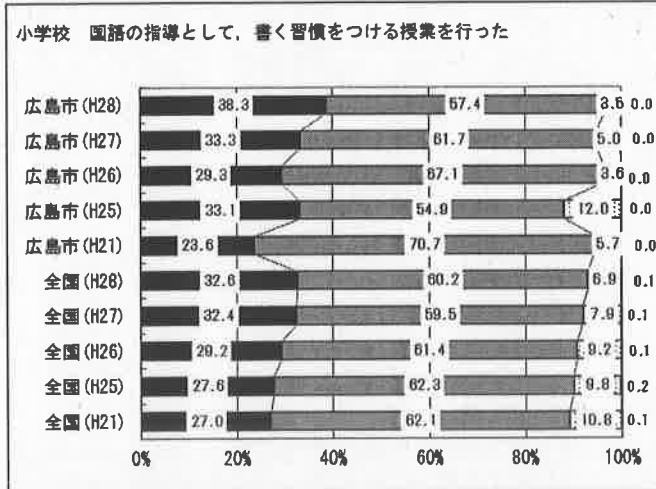
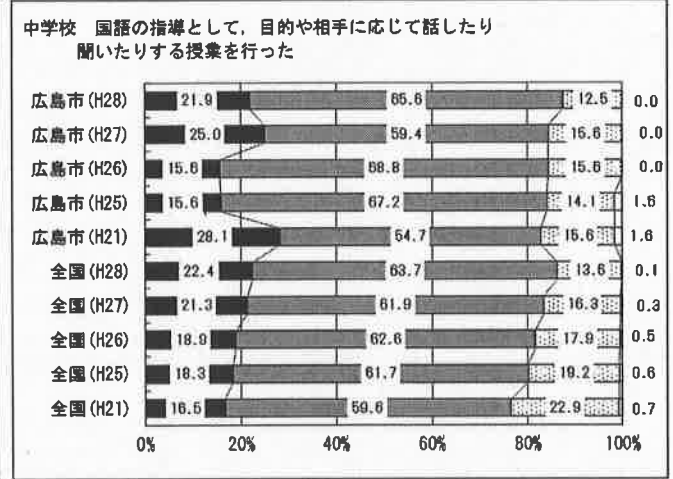
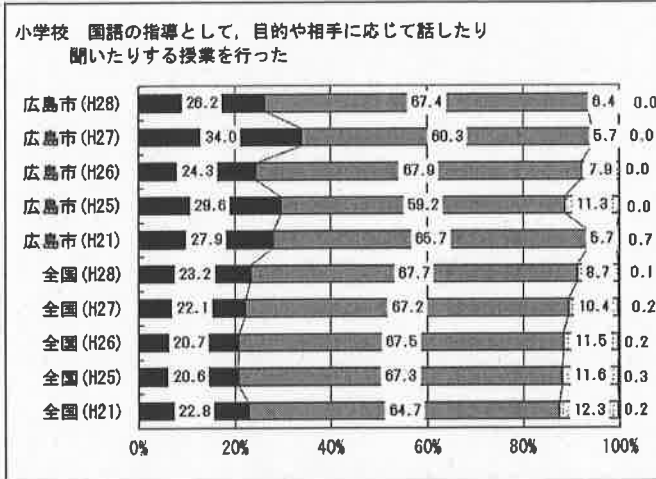
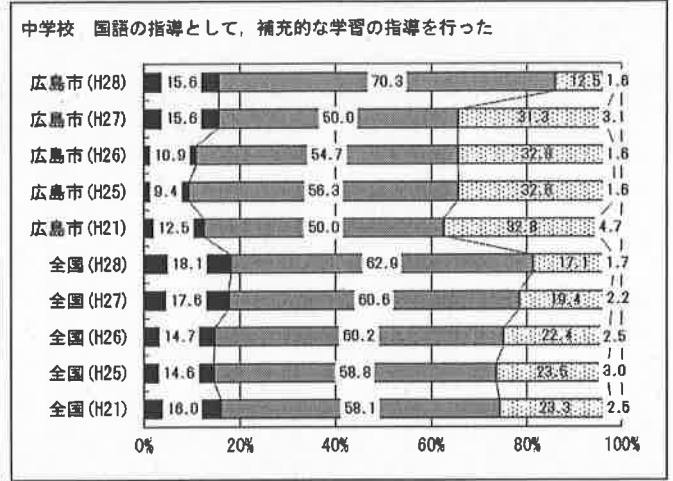
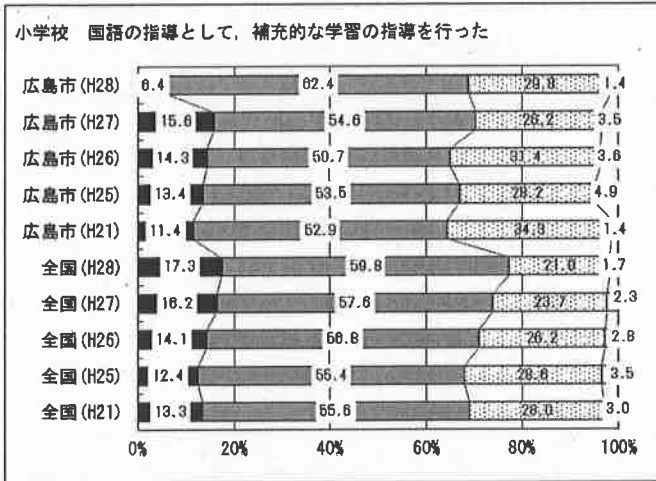


中学校 長期休業日を利用した補足的な学習サポートの
実施日数の累計



- 「放課後を利用した補充的な学習サポートを実施している」と回答した学校は、小学校では約36%、中学校では約90%であり、全国と比較して小学校では低く、中学校では高くなっており、「月に数回」「年に数回」の回答が多い。
- 「長期休業期間を利用した補充的な学習サポートを実施している」と回答した学校は、小学校で約73%、中学校では約84%で、全国と比較して小・中ともに高いが、中学校では「実施していない」が昨年度より増えている。

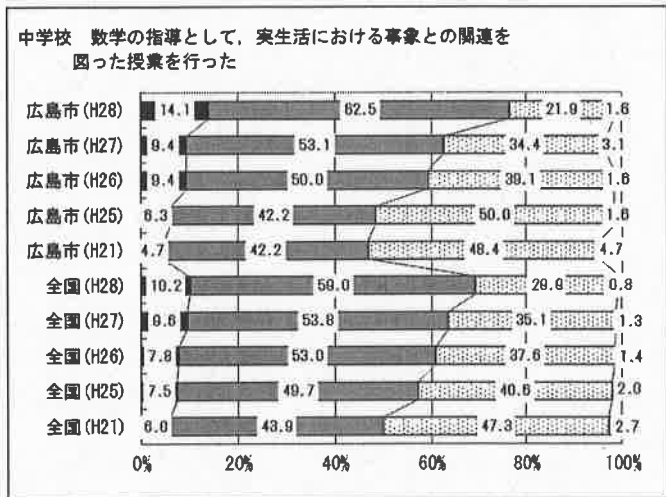
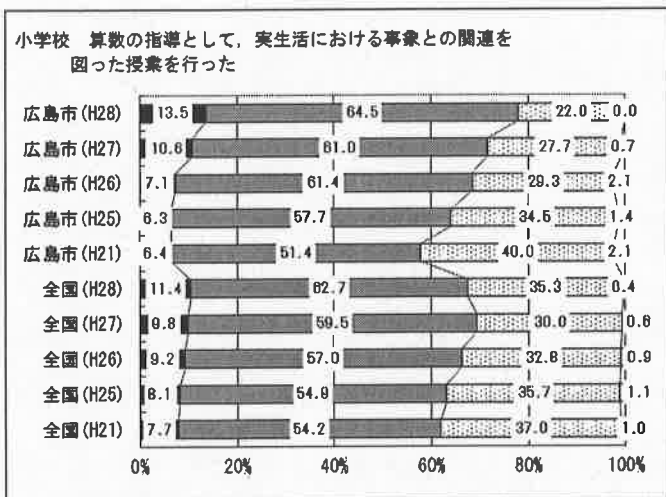
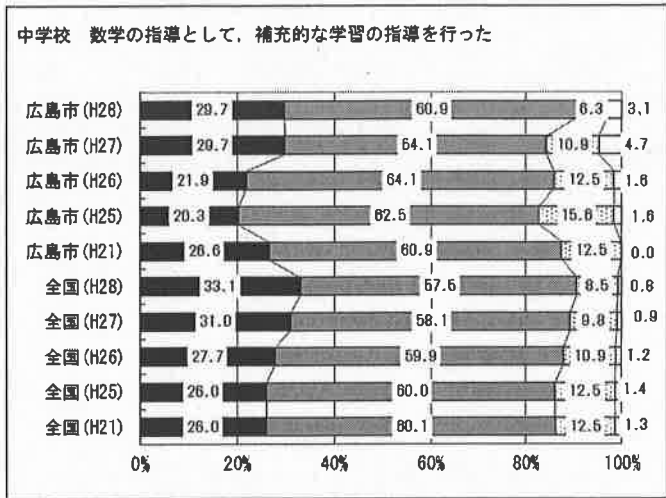
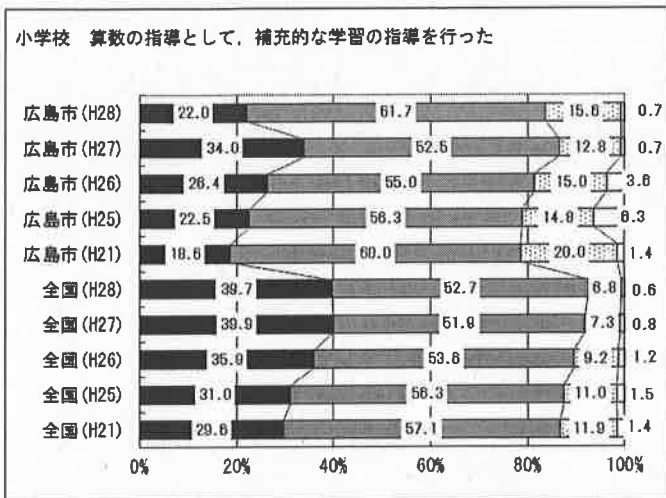
(4) 国語科の指導方法



よく行った
 どちらかといえば行った
 あまり行っていない
 全く行っていない

- 「国語の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校は、小学校で約68%、中学校では約85%で、全国と比較して小学校は低く、中学校は高い。
- 「国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行った」と回答した学校は小学校で約94%、中学校では約87%であり、また、「国語の指導として、書く習慣をつける授業を行った」と回答した学校は小・中学校ともに約96%で、全国と比較してやや高い。

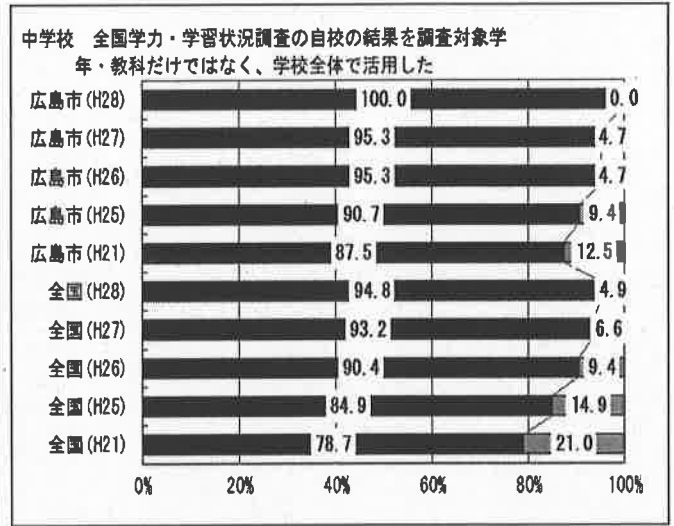
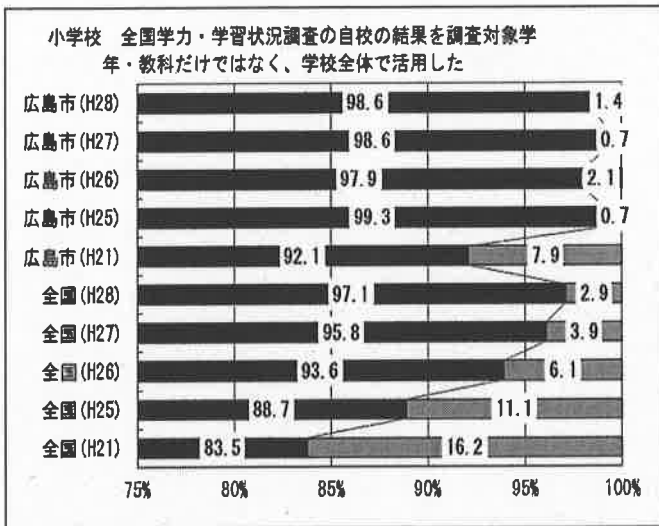
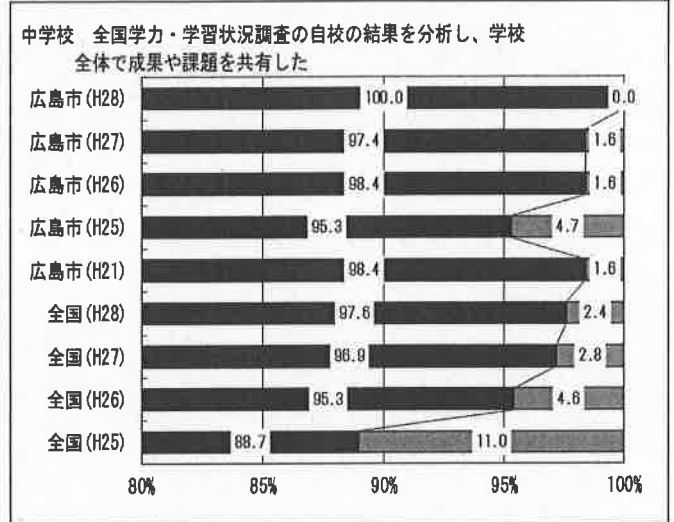
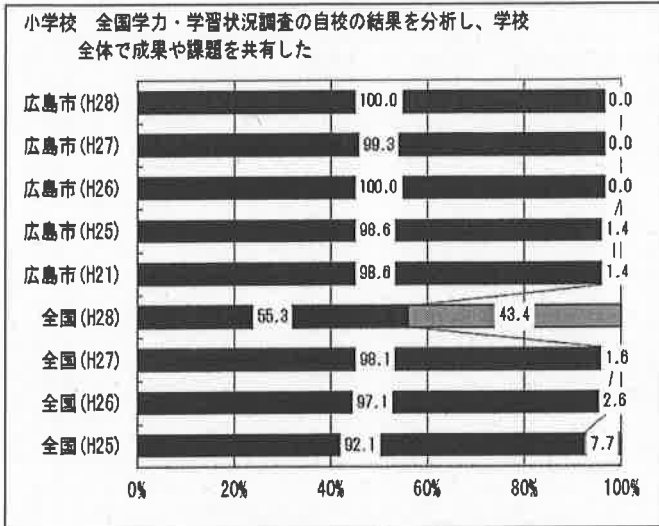
(5) 算数・数学科の指導方法



よく行った
 どちらかといえば行った
 あまり行っていない
 全く行っていない

- 「算数（数学）の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校は、小学校で約84%、中学校で約90%であり、全国と比較して小学校では低く、中学校では同程度である。
- 「算数（数学）の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校は、小学校で約78%、中学校では約76%で、全国と比較して小・中学校ともに高く、昨年度よりもともに高くなっている。

(6) 全国学力・学習状況調査の活用



■ はい ■ いいえ

- 「全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、学校全体で共有した」と回答した学校は、小・中学校ともに100%である。
- 「全国学力・学習状況調査の自校の結果を調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用した」と回答した学校は、小学校で約98%、中学校では100%である。

IV 資料編

★教科に関する調査

設問別調査結果

〔小学校調査〕

国語A：主として知識

国語B：主として活用

算数A：主として知識

算数B：主として活用

〔中学校調査〕

国語A：主として知識

国語B：主として活用

数学A：主として知識

数学B：主として活用

★児童生徒に関する質問紙調査

〔小学校調査〕

小学校第6学年 児童質問紙調査結果

〔中学校調査〕

中学校第3学年 生徒質問紙調査結果

★学校に関する質問紙調査

〔小学校調査〕

〔中学校調査〕

設問別調査結果 [国語A：主として知識]

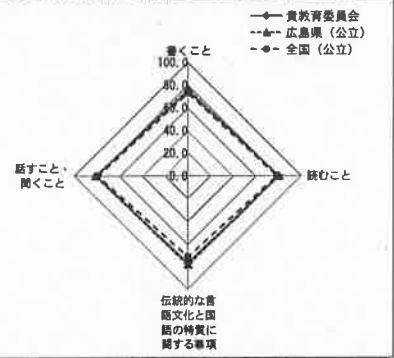
広島市教育委員会－児童

・以下の集計値/グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数		広島市教育委員会	広島県(公立)	全国(公立)	
		10,372	23,736	1,021,905	
分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			貴教育委員会	広島県(公立)	全国(公立)
全体		15	77.2	78.4	72.9
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	81.0	81.3	79.2
	書くこと	2	75.0	76.1	72.8
	読むこと	2	80.1	80.2	78.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	76.7	78.1	71.1
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	1	81.0	81.3	79.2
	書く能力	2	75.0	76.1	72.8
	読む能力	2	80.1	80.2	78.5
問題形式	言語についての知識・理解・技能	10	76.7	78.1	71.1
	選択式	6	79.1	79.7	77.2
	短答式	9	76.0	77.5	70.0
	記述式	0			

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	広島県(公立)	全国(公立)	貴教育委員会
1-1	漢字を読む(今日は全国的に休んだ)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	5-6 (1)ウ (7)						○	○		81.2	79.8	79.3	4.0	3.1	5.2
1-2	漢字を読む(お年玉を貯金する)		5-6 (1)ウ (7)						○	○		98.7	98.8	98.6	0.2	0.2	0.3
1-3	漢字を読む(むだを省くようにする)		5-6 (1)ウ (7)						○	○		85.1	85.2	81.0	3.7	2.9	5.0
1-2-1	漢字を書く(アサガオのなねをまく)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	5-6 (1)ウ (7)						○	○		91.5	90.3	87.5	2.7	2.2	4.5
1-2-2	漢字を書く(しなしい友人と出かける)		5-6 (1)ウ (7)						○	○		80.6	78.9	73.8	7.1	5.9	10.4
1-2-3	漢字を書く(先生にそうだんする)		5-6 (1)ウ (7)						○	○		69.1	68.5	64.2	3.4	2.7	5.0
2	全校集会で歌う歌を決めるために、どのように話し合っているのか、話し合いの説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合う	5-6 ア						○			81.0	81.3	79.2	0.2	0.1	0.2
3	ルール説明の表現について助言した内容として適切なものを選択する	書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する	5-6 カ						○			71.0	72.2	67.4	0.2	0.1	0.2
4	委員会を紹介するパンフレットを作るため、追加の取材をした理由として適切なものを選択する	目的や意図に応じて、書く事柄を整理する	5-6 ア						○	○		79.1	80.1	78.2	0.4	0.2	0.3
5	公園案内図とパンフレットにある表とを関係付けて読み、希望に合うものを選択する	目的に応じて、図と表とを関係付けて読む	5-6 ウ						○	○		93.8	93.6	93.1	0.4	0.2	0.3
6	『おばあさんの飛行機』を読んで、登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現として適切なものを選択する	登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉える	3-4 ウ						○	○		66.5	66.8	63.9	1.4	1.0	1.4
7アイ	毛筆で書いた(一)と(二)を書き直した際、注意した点として適切なものを選択する(永久)	用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決める	5-6 (2) ア						○	○		83.3	84.0	81.2	1.3	0.8	0.9
8_1	ローマ字を書く(りんご)	平仮名で表記されたものをローマ字で書く	3-4 (1)ウ (7)						○	○		63.3	70.0	63.2	8.5	5.9	11.9
8_2	ローマ字を書く(あさって)		3-4 (1)ウ (7)						○	○		50.4	57.1	41.8	9.4	6.5	13.7
8_3	ローマ字を読む(hyaku)		3-4 (1)ウ (7)							○	○		63.7	68.2	50.7	13.8	10.0

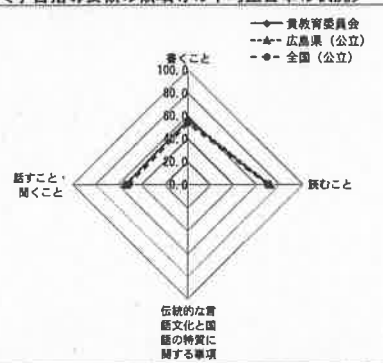
設問別調査結果 【国語B：主として活用】
広島市教育委員会－児童

・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数		広島市教育委員会	広島県（公立）	全国（公立）	
		10,369	23,720	1,021,635	
分類	区分	対象設問数（問）	平均正答率（%）		
			貴教育委員会	広島県（公立）	全国（公立）
全体		10	60.1	60.5	57.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	54.1	53.9	51.1
	書くこと	6	55.9	56.7	53.4
	読むこと	3	70.3	71.7	69.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0			
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	56.9	58.4	54.7
	話す・聞く能力	3	54.1	53.9	51.1
	書く能力	6	55.9	56.7	53.4
	読む能力	3	70.3	71.7	69.3
	言語についての知識・理解・技能	0			
問題形式	選択式	6	62.1	61.9	59.9
	短答式	0			
	記述式	4	56.9	58.4	54.7

＜学習指導要領の領域等の平均正答率の状況＞



※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			正答率（%）			無解答率（%）		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	広島県（公立）	全国（公立）	貴教育委員会
1-1	スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを作成した際の工夫した点として当てはまらないものを選択する	目的に応じて、質問したいことを整理する	5-6 エ				○			○			54.0	52.1	51.8	0.3	0.2	0.3
1-2	スーパーマーケットの店長への質問の意図として適切なものを選択する	質問の意図を捉える	5-6 エ				○			○			53.7	54.2	51.1	0.5	0.3	0.5
1-3	スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する	5-6 エ	5-6 ウ			○	○			○		54.7	55.4	50.4	7.1	5.2	7.8
2-1	「早ね早起き」活動の成果について、(図1)の結果を基に書いた内容として適切なものを選択する	グラフを基に、分かったことを的確に書く	5-6 エ				○			○			45.4	46.1	43.4	1.2	0.9	1.2
2-2(1)	「早ね早起き」活動の課題について、(図2)の結果を基に書く	目的や意図に応じて、グラフを基に、自分の考えを書く	5-6 エ				○	○			○		52.2	53.6	51.4	6.1	4.6	6.7
2-2(2)	「早ね早起き」活動の課題に対する解決方法について、(表2)の結果を基に書く	目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書く	5-6 エ				○	○			○		67.6	68.4	64.2	7.2	5.4	7.7
2-3	「早ね早起き」活動の報告文で課題を取り上げた効果として適切なものを選択する	活動報告文において、課題を取り上げた効果捉える	5-6 イ					○			○		62.0	60.2	58.3	4.3	3.2	4.2
3-1	「パン職人」に関する本を選んだ目的の説明として適切なものを選択する	目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む		5-6 カ					○		○		78.7	79.1	77.2	3.5	2.4	2.9
3-2	「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係付けてまとめたものとして適切なものを選択する	目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する		5-6 イ					○		○		79.0	79.7	77.9	4.0	2.7	3.4
3-3	「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしなが読む	5-6 ウ	5-6 ウ			○	○	○		○		53.3	56.3	52.9	12.3	9.0	11.6

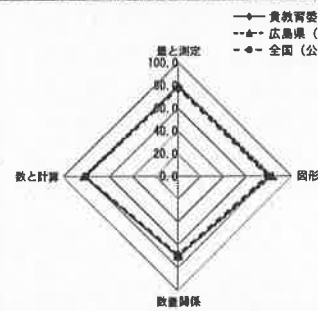
設問別調査結果 [算数A：主として知識]
広島市教育委員会一児童

以下の集計値/グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数		広島市教育委員会	広島県(公立)	全国(公立)	
		10,374	23,736	1,021,910	
分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			貴教育委員会	広島県(公立)	全国(公立)
全体		16	79.1	79.7	77.6
学習指導要領の領域	数と計算	10	81.4	82.0	80.5
	量と測定	2	79.0	79.5	77.9
	図形	2	80.6	83.0	78.8
	数量関係	3	70.6	70.2	68.5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	0			
	数量や図形についての技能	5	83.8	84.4	82.5
	数量や図形についての知識・理解	11	76.9	77.5	75.4
問題形式	選択式	5	77.6	78.6	75.8
	短答式	11	79.7	80.2	78.5
	記述式	0			

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

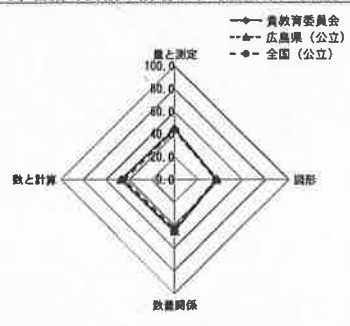
設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				問題形式	正答率(%)			無解答率(%)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係		貴教育委員会	広島県(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	広島県(公立)	全国(公立)	
1 (1)	$\square \div 0.8$ の商の大きさについて、正しいものを選ぶ	除数が1より小さいとき、商が被除数より大きくなることを理解している	5A(3)アイ				○	○	65.0	67.2	64.8	1.6	1.1	1.3
1 (2)	$2.1 \div 0.7$ を、除数が整数になるように工夫して計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く	除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解している	4A(3)エ 5A(3)イウ				○	○	67.4	69.5	68.5	0.4	0.3	0.4
1 (3)	小数の除法の結果を、乗法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く	除法における計算の確かめの方法を理解している	3A(4)イ 4A(3)エ 5A(3)イウ				○	○	89.8	90.5	87.9	0.8	0.6	1.1
2 (1)	$905 - 8$ を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる	3A(2)ア				○	○	92.7	92.1	90.9	0.3	0.2	0.4
2 (2)	$4.65 + 0.3$ を計算する	末尾の位のそろっていない小数の加法の計算をすることができる	4A(5)イ				○	○	80.2	80.9	77.1	0.3	0.2	0.5
2 (3)	$18 \div 0.9$ を計算する	小数の除法の計算をすることができる	5A(3)イ				○	○	77.4	78.3	77.7	0.9	0.7	1.1
2 (4)	$(2/9) \times 3$ を計算する	乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をし、約分することができる	5A(4)カ				○	○	87.7	88.2	87.0	1.6	1.2	1.9
3 (1)	二つの数の大小関係を表す不等号を書く	不等号を理解している	2A(1)イ 3A(1)イ				○	○	97.5	97.6	96.7	0.4	0.3	0.6
3 (2)	7.1, 7.7, 7.01 の中で一番小さい数と、一番大きい数を書く	数の大小関係を理解している	4A(5)ア				○	○	76.3	74.9	74.1	0.4	0.3	0.4
4	8 m^2 に14人座っているシートについて、 1 m^2 当たりの人数を求める式を書く	単位量当たりの大きさの求め方を理解している	5B(4)ア				○	○	73.6	75.1	72.0	3.7	2.7	4.3
5	三角形の底辺に対応する高さを選ぶ	三角形の底辺と高さの関係について理解している	5B(1)ア				○	○	84.4	84.0	82.0	0.9	0.6	1.1
6	4枚の三角定規でつくることのできる形を選ぶ	図形の構成要素に着目して、図形を構成することができる	1C(1)イ 2C(1)イ 3C(1)イ 4C(1)イ				○	○	81.1	82.8	79.6	1.0	0.7	1.0
7	直方体において、示された面に垂直な面を選ぶ	直方体における面と面の位置関係を理解している	4C(2)アイ				○	○	80.2	83.2	78.0	2.5	1.7	2.5
8	テープ全体の長さを基にしたときの赤い部分の長さの割合が、一番大きいものを選ぶ	全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味について理解している	5D(3)				○	○	77.6	75.7	74.4	2.2	1.5	2.1
9 (1)	前に10人、後ろに19人並んでいることを基に、列に並んでいる全体の人数を求める式と答えを書く	示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表すことができる	1A(1)イ 1A(2)ア	1D(1)			○	○	79.9	81.0	80.2	4.3	3.2	4.2
9 (2)	定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すとき、当てはまる数値の組み合わせを書く	1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解している	5D(3)				○	○	54.2	53.9	50.9	6.5	4.5	5.7

・以下の集計値/グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象児童数		広島市教育委員会	広島県(公立)	全国(公立)	
		10,369	23,720	1,021,637	
分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			貴教育委員会	広島県(公立)	全国(公立)
全体		13	49.4	49.5	47.2
学習指導要領の領域	数と計算	6	47.0	47.1	44.4
	量と測定	5	44.7	45.0	43.7
	図形	3	37.0	36.9	36.3
	数量関係	6	45.3	45.5	42.9
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	9	42.6	43.0	40.9
	数量や図形についての技能	2	58.0	57.3	53.3
	数量や図形についての知識・理解	2	71.7	71.3	69.5
問題形式	選択式	5	57.8	57.5	56.7
	短答式	3	70.0	69.4	66.4
	記述式	5	28.8	29.7	26.2

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



※一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)					
			数と計算	量と測定	図形	数量関係			貴教育委員会	広島県(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	広島県(公立)	全国(公立)			
1(1)	1辺が9cmの正方形の縦と横の長さを変えたときの面積を求める式と答えとして、ふさわしい数値の組み合わせを書く	示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じまわりが成り立つかを調べることができる	3A(3)アイ		4B(1)イ				○		○	93.9	93.5	92.5	0.4	0.3	0.4
1(2)	正方形の縦の長さを2cm短くし、横の長さを2cm長くすると面積が4cm ² 小さくなることの説明を書く	示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述できる			4B(1)アイ				○		○	49.0	50.5	45.2	3.6	2.6	4.0
2(1)	ハードルとハードルの間が5mのコースの、スタート地点から4台目のハードルを、巻き尺の何mのところに置けばよいか書く	ハードルの数とインターバルの数の関係を式に表し、4台目のハードルの位置を求めることができる			3D(2)ア	4D(2)ア			○		○	59.9	58.9	56.2	2.7	2.0	3.1
2(2)	40mハードル走の目標のタイムを求める式に8.1と4を当てはめて、まなみさんの目標のタイムを求める式と答えを書く	示された式に数値を当てはめて、目標のタイムを求めることができる	3A(5)アイ	5A(3)ア	4D(2)ア				○		○	56.1	55.7	50.5	4.2	3.3	4.2
2(3)	目標のタイムを求める式の中の0.4や0.3が表す意味を書く	示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述できる	3A(6)アイ	5A(3)ア					○		○	16.3	16.9	15.6	18.5	15.1	18.6
3(1)	三つの式について、それぞれの式が何を計算しているかの説明文を選ぶ	乗法や除法の式の意味を解釈することができる	2A(3)ア	3A(4)ア	4A(5)ウ				○	○		64.8	64.6	62.6	1.1	0.8	1.0
3(2)	縦39cm、横54cmの長方形の厚紙から、1辺9cmの正方形を24個切り取ることができるわけを書く	縦にかくことができる正方形の数を求め、24個の正方形をかくことができる理由を記述できる	2A(3)ア	3A(4)ア					○		○	43.4	43.4	38.4	17.2	13.7	17.4
3(3)	1辺が9cmの正方形に内接する円をかくために、コンパスの鉛筆の先を合わせる位置を選ぶ	正方形に内接する円の半径について理解している			3C(1)ウ	5C(1)ア			○	○		78.6	78.0	76.5	2.1	1.5	1.9
4(1)	学校ごとの1人当たりの本の貸出冊数を求めるために、学校ごとの貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を選ぶ	単位量当たりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し、特定することができる	5B(4)ア		3D(3)				○		○	48.4	48.2	45.3	2.4	1.7	1.9
4(2)	示された二つの表だけでは判断できないものを選ぶ	示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定することができる			3D(3)				○		○	72.5	72.5	70.7	2.9	2.1	2.5
4(3)	A小学校とB小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読みとった事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く	グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述できる			4D(4)イ				○		○	27.3	29.2	24.9	13.6	11.0	13.2
5(1)	示された形をつくることのできることを説明する式の意味を、数や演算の表す内容に着目して書く	示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述できる	3A(4)ア	4B(2)アイ	3C(1)アウ	5C(1)アウ	3D(1)		○		○	7.8	8.3	6.9	19.8	16.9	18.7
5(2)	示された四角形を並べてできる図形を選ぶ	図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断することができる	4B(2)アイ		3C(1)アイ	5C(1)アウ			○		○	24.6	24.2	25.4	11.4	8.8	8.9